



大阪日々新聞紙 九号

明治七年十一月十三日夜大阪
 安治川町にて強盗を追ふ
 捕吏の敷多小手向ふ二人の
 加及の文次郎振及神戸の
 竹次郎楠松各三千前後の壯者にて町の方
 へて大金を奪ひ人を害し大阪に逃れ来り
 悪徒あり安治川玉木鎌田の両家へ潜伏せ
 を取圍む兇賊の長が刀切先を白ひぐり群
 捕手の手負深手の血煙り尻に紅葉々をま
 突争續く荒手の中天網のつり事協
 文次郎の擲とあり残る兩人の水を濺り行
 と知らぬ鳴呼暴悪いさど窮迫至らんを
 踏跡を縮んんと決せりと報知五百十六号
 記せし

文花主人誌



新代
修
定

海士政
板

